

市内で行われた活動やイベントを紹介します

10月11日(火)

## モントレイ市中学生 親善訪問団が交流

ジュニアウィングスインジャパン2016  
七尾市役所

姉妹都市アメリカ合衆国モントレイ市の中学生15人から親善訪問団が表敬訪問した。不嶋市長が「ホストファミリーや中学生と友情を深める交流をしてほしい」と歓迎すると、モントレイ市引率代表のデイン・ラッセルさんと中学生のデীগン・ヘリングさんがあいさつ。中学生による日本語での自己紹介や記念品の贈呈など終始和やかな空気に包まれた。

訪問団は、10月9日から7日間市内に滞在。地元中学生との交流や座禅、芋掘りなどを体験し、互いに絆を強め交流の輪が広がった。



10月15日(土)

## 懐古館「飯田家」で結婚式

家族の伝統を守り、つないでいく  
懐古館「飯田家」

国登録有形文化財の懐古館「飯田家」で結婚式が執り行われた。飯田家は新郎飯田フィリップさんの母の実家で、約30年前にもフィリップさんのおじが結婚式を挙げている。新郎新婦は、家族の伝統を守っていききたいと、式には合わせ水の儀や花嫁のれんぐりなどを取り入れた。

仏壇参りを終えた新婦桐谷純子さんは「ご先祖様にこれからよろしく願います」と気持ちを含めました。家族の一員になったことを実感していた。親族と多くの見物客に見守られながら、2人は新たな人生の一步を共に踏み出した。



10月27日(木)

## 全国公民館連合会 優良職員表彰受賞

高階公民館 山本進館長  
七尾市役所

10月20日、21日に開催された第38回全国公民館研究集会岐阜大会で優良職員表彰を受けた高階公民館の山本進館長が、不嶋市長に喜びの報告をした。山本さんは平成23年に館長に就任し、市公民館連絡協議会会長や県公民館連合会副会長の任にあたり、生涯学習と地域づくりに境界を作らず積極的に取り組んでいることが評価された。

山本さんは「他の公民館のモデルになるよう活動していきたい」と抱負を述べた。今後も地域活性化の先頭に立ち、力が発揮されることを期待したい。



10月27日(木)~29日(土)

## 自然と文化の保全、 利活用を考える

第1回アジア生物文化多様性国際会議  
和倉温泉

世界農業遺産「能登の里山里海」などの取り組みが評価され、36力国から約5000人が参加して、アジアで初の国際会議が開かれた。

世界各地で実践されている生物文化多様性の取り組みの紹介や議論、講演やパネルディスカッションなどが行われた。また、同じテーマで将来を担う高校生や大学生が英語で議論を交わした。自然と文化の保全、持続可能な利活用を推進する石川宣言が採択されると、会場は一番の盛り上がりを見せ、参加者は石川県の取り組みが世界に認知されることを願った。



10月19日(水)

## 100歳のお誕生日 おめでとーございます

北田きよいさん  
介護老人保健施設有縁の荘

大野木町で8人兄弟の長女として生まれ、湯川町に嫁ぎ、5人の子どもに恵まれたきよいさん。家族の印象は働き者で気丈な母。80歳くらいまで仕事をもち、その後も15年ほど畑で仕事をし、施設入所後もリハビリに精を出して、入所前よりも元気になったとのこと。

長生きの秘訣を聞くと「好き嫌いなく何でも食べる」と歯切れよく答えるきよいさん。三男の栄一さんから「これからも好きなことをして、元気で長生きしてほしい」と言葉が贈られると、につこりとほほえみ喜びを噛みしめていた。



10月26日(水)

## 高齢者と子どものスポーツ大会

笑顔のふれあいで生きがいと健康づくり  
七尾総合市民体育館

市内の68老人クラブから約400人の高齢者と7つの保育園・幼稚園から150人の園児が集まり、スポーツやレクリエーションを楽しんだ。「力を合わせて頑張ります」と元気よく宣言した参加者は、一つ一つの競技に全力投球。結果が出ると、ハイタッチや万歳で喜びを分かち合った。

老人クラブ連合会会長の南朋之さんは「子どもの元気や勢いに負けないように頑張ります」と高齢者の生きがいと健康づくりに意欲を見せた。大人も子どもも手をつなぎ、会場には笑顔の輪とあわせの和が広がっていた。



11月3日(木・祝)

## 若手会議

能登島の未来を考える  
能登島地区コミュニティセンター

能登島地域づくり協議会が能登島に住む20歳代から50歳代の参加者で、能登島の将来を話し合う会議を開催。法政大学の岡司准教授の「地域を取り巻く社会情勢」や地域おこし協力隊小山さんの「データで見る能登島の現在と30年後」をテーマにした説明の後、ワークショップが行われた。

参加者は、自己紹介や説明を聞いて感じたこと、また、自分たちがどんなことをやってみたいかを紙に書いてグループ内で発表した。最後に先進地事例紹介を聞いた参加者は、能登島の将来像を思い描き、今後のまちづくりへの意欲をみせた。



11月4日(金)

## 笑顔で全国3位を報告

ながさき大会ゲートボール競技  
七尾市役所

10月15日から4日間、長崎県で開催された第29回全国健康福祉祭(ねりんピック)。ゲートボール交流会に出場した七尾市選手団8人が見事3位を獲得し、不嶋市長に報告した。

代表の木戸光紀さんは「メダル獲得を目指すとあって臨み、その通りの結果になって良かった」とチームワークで勝ち取った銅メダルを誇らしい表情で報告した。選手団の活躍を喜んだ不嶋市長は「次は金メダルを」とこれからの活躍に期待した。

